

ごあいさつ



岐阜県剣道連盟

会長

堤 俊彦

会員の皆様には、日頃より本連盟発展のために御尽力いただき、厚くお礼申し上げます。

本連盟では、昨年から選手の全国大会の各部門において優秀な成果を上げていただくため、大垣市武道館において毎月一回強化稽古会を行うこととし、レベルアップを図ってまいりました。

しかし、二月下旬頃から新型コロナウイルスの感染が世界的に広まり深刻な状況になってまいりました。数々の全国大会が中止になり、また、選手の皆さんも日頃の稽古ができなくなるという状況が続き、八月に開催される予定の「全国中学校剣道大会」も中止になり、この大会のために頑張ってきた選手の皆さんや準備を進めてきた関係者の皆さん方も残念であると思います。

十月三十一日からは、せきしんふれ愛アリーナにおいて、「全国健康福祉祭ぎふ大会」が開催されることとなっておりますが、一日も早く新型コロナウイルスの感染が収まり開催できるよう願うものであります。

本大会を成功させ、全国から来ていただく多くの選手・役員・大会関係者の皆様方にも心に残る大会となるよう、また、選手の皆様には、岐阜県の代表選手としての名誉と誇りにかけて、修練の成果を遺憾なく発揮され、夢と感動を与える熱戦を展開されることを期待しております。

今後、伝統ある武道「剣道」が将来に向けてより一層発展するよう御尽力いただきますとともに、御支援・御協力いただきますようお願い申し上げます。

おわりに、皆様の益々の御健勝をお祈り申し上げて、あいさついたします。